

事業所名

ことばと発達のサポートルーム マーブル

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

6年

12月

3日

法人(事業所)理念		子どもをまんやかに。					
支援方針		科学的根拠に基づいた理論を土台とし、個別最適化された支援を提供し成果で応える療育を提供します。支援技術の土台となるABA/PECS®/構造化を軸に子どもたちの行動問題やコミュニケーションの課題に対応していきます。					
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	物理的構造化/スケジュール/ワークシステムを用いて、見通しの持てる環境下において、安心して学べる環境を整えます。ソーシャルストーリーズ®やその他視覚的手立てを用いて、共通理解を図れるよう支援を行います。					
	運動・感覚	太田Stageプログラムを中心として、目と手の協応を育む課題を行います。●各種感覚の発達及び異種感覚の統合を促す課題の実施 ●目と手の協応 ●身体調整 ●動作模倣(音声模倣)					
	認知・行動	太田Stageプログラムを中心として、認知発達課題を行います。 ●構成課題(実物見本・カード見本・音声指示) ●動作模倣(音声模倣) ●視覚-運動スキルの獲得(生活用品・学用品の使用)					
	言語コミュニケーション	太田Stageプログラムを中心として、言語発達課題を行います。ことばの概念やコミュニケーション支援を行います。無言語のお子さんや表出言語の少ないお子さんに対してはPECS®によるコミュニケーション支援を行います。●理解/表出コミュニケーション支援(TEACCH®・PECS®) ●名詞の理解 ●属性語の理解 ●概念の理解(ことば・数概念・文字概念…) ●介助要求スキル ●構音訓練(言語聴覚士対応) ●リッカムプログラム®(吃音の流暢性獲得の為のプログラム・認定資格を持った言語聴覚士対応)					
	人間関係社会性	太田Stageプログラムを中心として、個別療育で大人との1対1の関係を築けたお子さんは、小集団活動を行い同年齢集団でのやり取り場面を設けます。●適切な要求手段の獲得 ●ルールの共有 ●SST ●自己認知支援					
家族支援		個別療育に親御さんに同室して頂き、日々の関りに関してのご相談に応じ、助言を行います。			移行支援		併設している保育所等訪問支援等を利用し、地域の生活場面への移行を支援します。また、担当者会議等では現状報告書を作成し関連機関との情報共有を行います。
地域支援・地域連携		定期的に勉強会や公開研修を実施しています。また、地域貢献の一環として無料相談会(言語聴覚士が対応)を実施しています。地域の勉強会や講演会へ講師としてセラピストを派遣しています。			職員の質の向上		法定研修・実務研修・実践研修とそれぞれ、弊社独自のカリキュラムにより研修を行っています。
主な行事等		無料相談会・各種勉強会の実施。					